

1 行財政改革および公共施設等総合管理計画について

- (1) 第2次行財政改革大綱実施計画がH28年度で完了する予定である。平成26年度の取組結果表によれば、一部達成を含め、すべての取り組み項目において目標を達成している。以下、こうした状況を踏まえ行財政改革の取り組みについて伺う。

地方公会計制度による資産管理などの取り組みについて、その主な成果と課題を伺う。

平成29年度以降の行財政改革への取り組み構想を伺う。また、今後の取り組みにあたっては項目を絞り重点化する方法もあると思うが、市の考えを伺う。

- (2) 公共施設等総合管理計画について

予防保全型修繕への転換を行うことにより予想される耐用年数増加・費用削減などの効果について具体的な説明を求める。

本計画に基づいた個別の施設やインフラの保全・更新計画への落とし込みについて市の考えを伺う。

本計画の市民への周知について、方法と計画を伺う。

2 公園の整備について

- (1) 遠江国分寺史跡・中央公園周辺やつつじ公園周辺など、市街地の公園について、観光資源としての活用という観点からの現状認識を伺う。また、これら旧東海道周辺の公園は、ＪＲ磐田駅とＪＲ新駅をむすぶウォーキングなどの拠点にもあたり、にぎわいづくり、子どもの遊び場、高齢者の健康づくりの拠点としても重要と考えられることから、今後は、緑地の確保だけでなく、観光資源や市民憩いの場などの視点を織り込んで整備・保全をしていく必要があると考えている。こうした観点からの公園整備構想について市の考えを伺う。
- (2) 獅子ヶ鼻公園を中心とした敷地地区全体を視野に、ハイキングやトレッキングなど、年齢や体力に応じて楽しめるような里山構想を、具体的に検討することについて、市の考えを伺う。
- (3) 防潮堤完成後の竜洋海洋公園の活用方法について、農業経営塾やエコパークなど、周辺施設も含めた構想を伺う。
- (4) 協働による公園の維持管理について現状と課題を伺う。獅子ヶ鼻トレッキングコースは、当局と財産区およびボランティアとの協働で整備や保全を行ってきている。この手法の成果・課題を伺う。また公園整備や保全にも、こうした手法の活用が有効と思うが、市の考えを伺う。